

1. 件名：「泊発電所3号機の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（140）」

2. 日時：令和4年7月27日（金）10時00分～11時30分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、松末技術参与、田島主任技術研究調査官※、馬場係員

北海道電力株式会社：藪執行役員 他8名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・泊発電所3号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価について
- ・泊発電所3号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価について
（参考資料）
- ・泊発電所3号炉 残されている審査上の論点とその作業方針および作業スケジュールについて

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	原子力規制庁タニです。ヒアリングを始めたいと思います。ヒアリングの議題としては、泊発電所3号炉、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価についてと、
0:00:15	ということと、あとは、
0:00:17	審査上のこのスケジュール関係の話ですね、この2点についてまず資料の説明の方をお願いします。
0:00:29	はい。北海道電力の松村です。泊3号炉標準応答スペクトルを考慮した地震動評価についてヒアリングよろしくお願ひいたしますあわせて作業スケジュールについての説明をいたします。
0:00:42	説明はタカハシから説明時間は20分程度を予定しておりますよろしくお願ひいたします。
0:00:52	はい。北海道電力の高橋です。それでは資料のほうご説明させていただきます。本日のご説明は、前回7月8日のヒアリングから資料を修正した部分を中心にご説明させていただきます。
0:01:09	まずは、大きく資料構成を見直しました部分についてご説明させていただきます。
0:01:15	ページ飛びまして104ページをお願ひいたします。
0:01:20	前回ヒアリングにおいては、観測位相を用いた模擬はの検討にあたって考慮すべき観測記録がえられてないということから、念のために、今日記録を用いまして位相特性の違いによる地震動への影響を、
0:01:37	確認、影響の確認ですね、影響の確認を実施しておりました。しかしながら、今日観測記録を用いた検討が、念のための検討であるということ踏まえまして、
0:01:48	今日記録を用いた検討を、参考として位置付けまして、参考資料の方へ記載箇所を変更してございます。
0:01:57	それに伴いまして、104ページですけれども、観測記録の選定結果について、茂木伴の検討にあたって考慮すべき記録がえられてないと。
0:02:07	ということから、以降の検討については、含水走破を検討に用いる旨記載を修正してございます。
0:02:15	106ページ以降につきましては、檀水槽はに関する検討結果をお示ししてございます。
0:02:22	なお参考資料の8の方に、今日記録を用いた模擬はと、断水槽は比較によりまして、位相特性の違いによる地震動への影響評価と、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:34	影響を確認した結果を記載してございます。こちらにつきましては後程ご説明させていただきます。ページ進みまして 107 ページをお願いいたします。
0:02:45	こちらは、L A N水槽は一の解放基盤基盤表面での茂木はの検討結果となっております。
0:02:53	108 ページをお願いいたします。
0:02:57	標準を、結果としまして、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価としましては、檀水槽を用いた模擬はを設定してございます。
0:03:06	110 ページをお願いいたします。
0:03:11	こちらは検討のまとめとなっておりますが、先ほどご説明させていただいた資料構成の見直しに伴いまして、②の観測位相を用いた模擬派の検討の結論部分について、
0:03:25	茂木伴の検討に考慮すべき記録がえられて、られていないということから、以降の検討を、残水走破を用いる旨の記載を、に修正してございます。
0:03:36	また、③番ですか、が解放基盤表面における地震動の設定についてというところでございますが、こちら、標準応答スペクトルを考慮した地震動として、
0:03:47	解放基盤表面における断水走破を設定することでございますが、こちら、標準応答スペクトルを考慮した地震動を設定する旨記載を修正してございます。続きまして、先ほど 104 ページでご説明いたしました参考資料の記載箇所を変更した部分ですね。
0:04:03	こちら今日の記録を用いた検討についてご説明させていただきます。参考資料の方に飛びまして、参考資料の 118 ページ、119 ページをお願いいたします。
0:04:16	119 ページですね、こちら位相特性の違いによる地震動への影響確認ということで、先ほどご説明させていただき、いただいた通り、茂木は、の検討にあたって、
0:04:28	検討に適した記録がえられてないということから、位相特性の違いによる地震動への影響を、念のために確認するために、地盤条件を重視しまして、改めて記録を選定してございます。
0:04:42	結果としまして、記録の信頼性としてはやや劣るものの、泊発電所の地盤条件と類似性が認められると考えられます今日記録、こちらを選定しまして、
0:04:54	今日記録を用いた模擬はを検討してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:58	124 ページをお願いいたします。
0:05:04	124 ページ、125 ページには、今日記録を用いました茂木は、と、L A N水槽はの比較結果をお示ししてございます。
0:05:15	解放基盤表面での応答スペクトルは、両者とも同程度であること、さらに、主要動の継続時間が欄水槽の方が長いことを確認してございます。
0:05:26	それらを踏まえますと、断水槽は標準応答スペクトルを考慮した地震動として設定することに影響を与えるものではないと考えてございます。
0:05:36	続きまして本文に戻りまして本文 70 ページをお願いいたします。
0:05:52	こちら収集した観測記録につきまして、速度は形を追加でお示しするとともに、地表観測点の応答スペクトル、さらにはフーリエ振幅スペクトル、フーリエ位相スペクトルを、
0:06:06	地中の観測記録の評価結果に重ね描いてございます。
0:06:10	また、資料構成を一部見直してございまして、観測記録ごとに、時刻歴は形及び応答スペクトル等をまとめてお示しし、
0:06:21	特異な位相特徴の有無の確認結果を追記してございます。
0:06:26	例えば 70 ページ 71 ページ、こちらにおきましては、M3.8、赤井側の記録につきまして、まとめてございます。
0:06:35	A は K2 パルスはやや振幅の大きい高度化が見られないこと。
0:06:40	さらには、応答スペクトルやフーリエ振幅スペクトルに特徴的な形状が見られないこと、さらに、フーリエ位相スペクトル、こちらに特定の位相や、特定の周波数に偏りが見られないことを確認してございます。
0:06:55	以降、79 ページまでは地震規模の小さい記録の評価となっておりまして、同様の評価結果確認結果となっておりまして。
0:07:05	ページ飛びまして 80 ページをお願いいたします。
0:07:11	こちらは M5.6、白老の記録のは形となっております。
0:07:16	これらの葉系のうち、NS 方向の 6 秒から 7 秒程度に、若干ピークが見られますけれども、81 ページにお示ししました応答スペクトルやフーリエ振幅スケートの振幅スペクトル、
0:07:31	こちらには得長期的な形状が見られないということ、さらにはフーリエ位相スペクトル、こちらにも、特定の位相周波数に偏りが見られないということから、
0:07:41	これらは、位相特徴に影響を与えるような形ではないと考えてございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:46	82 ページをお願いいたします。
0:07:50	こちらはM5.6 大滝のは形となっております。
0:07:56	これらの葉系のうち、速度は系につきましては、振幅の大きい小塚が見られますけれども、一方で、加速度は系、こちらには同様の傾向が見られないということ。
0:08:07	これらを踏まえまして、これらは一層特徴に影響を与えるような形ではないと考えてございます。
0:08:14	84 ページをお願いいたします。
0:08:19	こちらM5.6 喜茂別のハケとなります。先ほどと同様に、速度は形に振幅の大きい航続はが見られますけれども、加速度はKには同様の傾向が見られないということから、
0:08:32	A層特徴に影響を与えるような形ではないと考えてございます。
0:08:36	90 ページをお願いいたします。
0:08:42	これまでの検討を踏まえまして、特異な位相特徴の確認結果についてのまとめを追記してございます。
0:08:50	収集した八つの観測記録の時刻歴は系につきましては、パルスはやや主要度と同程度の振幅の大きい後続は、等の特徴的な形状のは形が見られないということ。
0:09:02	また、応答スペクトル、フーリエ振幅スペクトルに特徴的な形状が見られず、フーリエ位相スペクトルも特定の位相周波数の偏りが見られないことを確認してございます。
0:09:14	なお、先ほどご説明させていただきましたが、一部の観測記録には、時刻歴は形にP E E Kや高度化が見られますけれども、いずれの記録におきましても、応答スペクトルやフーリエ振幅振幅スペクトルには特徴的な形状
0:09:29	が見られないことなどから、
0:09:31	位相特徴に影響を与えるような形ではないと考えてございます。
0:09:37	また、収集した八つの観測記録の加速度時刻歴は計につきましては、規模の小さい地震の観測記録でありますので、
0:09:47	野田の手法に基づき、M7X e q 10 キロから設定しました強震部の継続時間よりも優位短いことも併せて確認してございます。
0:09:59	以上を踏まえまして、収集した八つの観測記録につきましては、特異な位相特徴はないものと判断してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:07	ここまでが資料構成の変更を含む含みます、大きな修正箇所となっております。
0:10:14	その他記載の充実化等、記載内容を一部修正している箇所がございますので、そちらをご説明させていただきます。
0:10:22	ページ 17 ページをお願いいたします。
0:10:29	こちら検討フローを示してございますが、検討フローの中の一つ目の箱を観測記録の収集につきまして、敷地の記録の収集条件に関する記載の充実化を図ってございます。
0:10:43	具体的には、敷地近傍の内陸地殻内地震を対象としている旨の記載を、一つ目の丸に、追記してございます。
0:10:53	18 ページをお願いいたします。
0:10:57	こちらは、泊発電所の地震観測点に関する概要を示してございますが、この中で、神恵内層及び古平層の性状につきまして、
0:11:07	小屋コア写真等を参考として別冊の参考資料に形、掲載英気追記してございますので、その旨を※書きで追記してございます。
0:11:18	19 ページをお願いいたします。
0:11:23	こちらは敷地の観測記録に関する記載でございますが、こちらの敷地の記録の収集条件に関して説明を追記しているという形になってございます。
0:11:36	22 ページをお願いいたします。
0:11:41	ここ、こちらにつきましては、観測記録の選定に関する条件を記載してございますが、この中で、観測記録の収集対象を、敷地周辺の観測点の K I c ネット観測点に拡大しまして記録を収集しているという状況になってございます。
0:11:58	その際、K - N E T 観測点の取り扱いにつきまして三つ目の丸に記載を追記してございます。
0:12:07	具体的には、敷地から 30 キロ以内の K - N E T 観測点につきましては、岩盤上の観測点ではないということから、対象収集の対象外としていることを追記してございます。
0:12:20	33 ページをお願いいたします。
0:12:27	こちらにも収集条件に関して記載がございますが、こちら、観測記録の収集にあたって、収集条件を拡大という形でしてございますけれども、
0:12:38	その条件の拡大にあたっての考え方を追記してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:43	具体的には、二つ目の丸に追記してございますけれども、観測点近傍の内陸地殻内地震の記録を収集するため、拡大する条件としては、収集、地震規模及び収集範囲を拡大する旨記載を追記してございます。
0:13:00	40 ページをお願いいたします。
0:13:07	こちら先ほど 22 ページと同様でございますけれども、北海道西部における K-N-E-T 観測点の取り扱いについて二つ目の丸に追記してございます。
0:13:19	ページ飛びまして 91 ページをお願いいたします。
0:13:27	こちら観測記録の確認のうち、SNP の確認につきまして、SN 比が小さいということで判断している部分につきまして、10-1 乗程度を、
0:13:40	を見、下回る部分が、SN 比が小さいということがわかる旨、三つ目の丸野最後の部分に記載を追記してございます。
0:13:50	98 ページをお願いいたします。
0:13:57	修正箇所についてはこの部分が最後となりますけれども、主要動の継続時間に関する考察につきまして、仮に地震規模を大きく想定した場合の考え方を、
0:14:10	三つ目の丸として追記してございます。
0:14:14	具体的には、地震規模を大きく想定することで、継続時間が長くなる可能性もございますけれども、当社としましては、観測記録の特性を考慮するため、
0:14:26	記録をそのまま用いる旨記載を追記してございます。
0:14:30	資料の修正箇所については以上となっております。
0:14:35	ご説明については以上となります。
0:14:42	北海道電力松村です。引き続き、工程の方の説明もさせていただいてよろしいでしょうか。
0:14:50	はいお願いします。
0:14:52	はい。宮工程の方は奥寺から説明させていただきます。
0:14:57	北海道電力の奥寺でございます。
0:15:00	作業方針と作業スケジュールについて説明させていただきます。
0:15:06	1 枚めくっていただいて、
0:15:09	作業状況の会計代理期ですけれども、
0:15:13	5 番目の 7 月 27 日の部分を追記してございます。
0:15:19	内容としては (1) の震源を特定せず策定する地震動の、
0:15:24	話としてナンバー 1 の作業状況を更新してございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:29	また (2) 基準津波の策定ということで、ナンバー6 の部分の作業方針と作業状況を更新してございます。
0:15:38	めくっていただいて、作業スケジュールの方の改定来利益になります。5 番目に 7 月 27 日、本日の部分を示してございます。
0:15:49	基準津波の策定に関しましてはまず、
0:15:53	どうして
0:15:55	工程が変更になったかという理由を追記するというような、確認がございましたので、その部分を追記してございます。
0:16:04	基準津波の策定については通しナンバー7 日本海東縁部に想定される地震による津波と陸上地すべりによる津波の組み合わせの評価結果が、
0:16:15	耐震耐津波設計方針の検討工程に影響を及ぼす項目であることにかんがみ、
0:16:21	優先的に進めることとしたため、資料提出時期及び介護希望時期を以下の通り変更したところの部分を追記してございます。
0:16:30	またしばらく真ん中ぐらいから基準津波の策定でタスクの関連性に関する記載を、
0:16:38	3、
0:16:40	概ね 3 パターンについて示してございます。投資ナンバー4 関連投資ナンバー6 関連、通しナンバー7 関連に関して追記してございます。
0:16:51	またその下、敷地の地質地質構造に関して、火山影響評価の審査期間を変更したことに伴い、通し No. 20 の資料作成の開始時期を見直したと。
0:17:04	この部分を追記してございます。
0:17:07	めくっていただいて、実際のスケジュールの方を見ていただきたく思います。
0:17:13	主に変更したところにつきましては先ほど述べた通りですが、地震津波に基準津波の策定に関するタスクの関連性についての変更が主なものです。
0:17:25	まず、4 番の
0:17:28	縁部の波源領域の妥当性に関して、ここから説明期間後の 5 月の会合から、ナンバー6 の
0:17:41	方針検討方針説明それと No. 7 の検討方針説明。
0:17:46	そして、
0:17:47	もう 1 枚めくっていただいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:51	年超過確率の参照に関する作業への繋がり、ここをまず追記してご います。
0:17:59	それとナンバー6から検討方針説明後ですけど7月上旬から、
0:18:06	タスクがおりてきまして、
0:18:08	こちらの方も、11番の年超過確率の参照に、の作業に関連する事項とし て、関連性を追記してご います。
0:18:18	また、No.7の組み合わせの評価結果に関してですけども、けれども、こ ちらの方の審査が終わり、
0:18:29	次第、8番の時刻歴は系に関する部分、それと、
0:18:34	9番の津波堆積物等の整理結果と比較に関する事項。
0:18:41	また、
0:18:43	10番の網移動評価に伴う取水性の確保なり、
0:18:48	また、11番の年超過確率に関連する対策と、このような繋がりについて 追記してご います。
0:19:01	主な変更内容については以上でご います。説明は以上です。
0:19:09	規制庁谷です。
0:19:11	説明ありがとうございました。
0:19:14	それではですね
0:19:17	資料の確認から入っていきたいと思うんですがまず地震動の
0:19:22	方の確認を行います。
0:19:28	越冬
0:19:30	ちょっと待ってくださいね。私の方から幾つかあって、
0:19:41	まずですね多分今日の資料の大きな変更としては、
0:19:47	観測位相の
0:19:49	模擬地震はを参考にしましたよと。
0:19:53	これはさっきの説明では念のため実施していたようなものだから、
0:19:59	参考の資料に移しましたよと、前のヒアリングから位置付けというか
0:20:05	目的みたいなものは変わってないってというような話かと思 います。
0:20:12	ですね。
0:20:16	ちょっとですね。
0:20:17	それをただ読んでみると、
0:20:21	参考資料の、
0:20:24	119ページですね。
0:20:28	なんかですね参考にしてくださいという検討しますよって いうような部分が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:33	まだ何か位置付けが何かあまりはっきりしなくて、
0:20:37	られ、
0:20:38	何か一つ目の丸で、検討に適した観測記録を獲られなかったしかしながら、
0:20:45	観測記録を改めて選定する。
0:20:48	ていう
0:20:51	影響確認をするために、どうどうどういう目的です、こういった検討をしているのかっていうのがですね、何かちらっと影響確認することとCと書いてるんですけど、いまいちですねこの
0:21:06	はっきりこの検討の位置付けっていうのが、
0:21:10	わかりにくい記載になっているかなど。
0:21:13	思っていますんで、だから何のためにこういったことを実施するのかとか、影響っていうのはどういうものを見ていくつもりなのかとか、
0:21:25	どう、
0:21:26	どんなものがあつたら、
0:21:30	影響があると評価するのかとかですね、その辺のちゃん、ちゃんと前段で、どういう検討をするのかっていうのをですね、
0:21:39	何かの説明をしていただきたいなっていうのを思っています。
0:21:44	あとは、
0:21:47	何でこの検討では地盤条件の、
0:21:51	類似性を重視しているのか、
0:21:55	重視するっていうことわかるんですけども、なぜこれを特に重視したのかとか、そういった説明もですねお考えが、
0:22:04	あるんだと思いますので、ちゃんと資料上わかるようにしていただきたいなというふうに思ってるんですけども。
0:22:10	まずこの辺の影響確認って、
0:22:15	何のためにやって、
0:22:19	どういう、どういう記録替えられ、どういう結果だったら、影響があるっていうふうになっているのかとか、その辺の説明いただいていいですか。
0:22:33	はい。北海道電力の高橋です。
0:22:36	丹さんおっしゃられています。参考資料の位置付けでございしますが、若干、資料の方にも記載してございしますが、位相特性二つ目の丸ですね、参考資料の119ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:51	二つ目の丸、位相特性の違いによる地震動への影響を確認するというのがメインとなっています。具体的には、観測位相はの、茂木は、の方を作成しまして、
0:23:04	その茂木は、が、どのように作成にあたって影響するのかというところを確認すると、確認にあたっては、
0:23:15	L A N水槽は、との比較によりまして、大きな茂木は、の方がぶれがないかどうかというところを確認してございます。
0:23:26	従いまして確認の結果としましては、124 ページ 125 ページで、L A N水槽はと比較してございますが、応答スペクトルとしては概ね同程度、
0:23:38	ということで考えてございまして、
0:23:40	大きな輸送特徴の影響というものはないだろうということで考えてございます。一方らん水槽のほうにつきましては、主要動の方が長いということも踏まえまして影響としてはらん水槽の方が長尾影響が大きいということで考えていると。
0:23:54	いうところでございます。
0:23:56	あと、二つ目ご質問でございますが地盤条件の類似性の方、今回、重視して観測記録の方を選定してございます。
0:24:07	こちらにつきましては、乾燥機受槽は、のもとの検討をにあたりまして第大前提というところでございますけれども、敷地の観測記録を、を用いることが、一番重要だろうと。
0:24:22	いうことで考えてございましたが、当社として今館敷地でやられてる観測記録がないという状況になってございます。そこで観測記録の方、
0:24:31	収集対象を拡大して他機関の記録を用いているといったことも踏まえまして、地盤条件が似たようなところ、
0:24:42	使って乾燥機層の方を、観測位相は一の方を検討していきたいということで考えていると。従いまして
0:24:53	地盤条件、観測 9 記録を選定する際に、重要視しているところとしては、
0:25:03	地盤条件のところを重要視して今回は赤、念のための検討の記録を選定しましょうということで考えているというところになってございます。
0:25:13	記載については、そこら辺の位置付けの部分がはっきりしないというところもございますので、資料の方、修正していきたいと思っております。
0:25:26	以上になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:27	はい。規制庁谷です。
0:25:30	あれですね何か今の説明でいけば、1点目は、
0:25:34	これ関数観測位相を使ってやってみて、応答スペクトルが大きく変わるようだったら、やっぱりそれはもう少し分析するとか、そういったことを考えていたけれども、
0:25:47	そんなことはなかったという説明なのかなというふうに思いました。あと、地盤条件の類似性を重視した理由っていうのが今の話を聞いても何か、
0:25:57	こうだから地盤条件っていうのが、何かいまいわからなかったなと思ひまして、これを優先する理由っていうのはちょっとちゃんと書いていただけたらと思います。
0:26:10	あとね、下、さっきの125ページで、
0:26:15	これ只野記載の、
0:26:18	記載の書き方なのかもしれないですけどやっぱり二つ目の丸で、
0:26:22	さっきの質問、確認と、
0:26:25	共通するようなことなんですけれども、
0:26:28	L A N水槽のL A N水槽を用いた地震は標準応答スペクトルを考慮した地震動として設定することには、
0:26:38	影響を与えないものと考えているっていうのが、何かこう、
0:26:48	比較結果で同程度だから、影響を与えないっていうのが、何かちょっと言葉として、よくわからなくて、結局、観測椅子を使う。
0:26:59	でも、
0:27:01	応答スペクトルに与える笹井が出ないからだからいいんだというような話であればですねちゃんとそのわかるように書いて欲しいなど。
0:27:13	今のこの影響を与えないと考えているっていうのだけでは、
0:27:19	なかなか伝わらないのかなというふうに思ってここでただの、言葉じりの話かもしれませんけど、
0:27:24	この辺何か説明してもらったと思うんですけど。
0:27:34	はい北海道電力野尻です。そうですねちょっと、
0:27:38	表現としてもともと、今回はL A N水槽、ここだけ観測位相の方は使える記録がないっていう仕切り行った上での参考検討ということでL A N水槽、
0:27:50	で設定を地震動を設定していきますということに影響を与えませんよという言い方なんですけどちょっと前、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:57	普通に考えると、トランス磯で代表できているということ。
0:28:02	なんだと思ってますんで、ちょっと位置付けを落としたがゆえにちょっと表現としてちょっと影響与えないという言い方にしてますけどちょっともう1回、
0:28:10	整理はします基本的には檀水槽で代表できているという、
0:28:14	ことが変わらないというか、
0:28:17	ことを言いたかったということだと思っておりますのでちょっと表現はもう1回直したいと思います。以上です。
0:28:27	規制庁谷です。ちょっとこの辺の主張したいことをはっきりと書いていただけたらと思います。
0:28:33	あとはですね、
0:28:35	今回の位置付けっていうのを、
0:28:41	どこだったかな。
0:28:44	104 ページ。
0:28:48	104 ページで、
0:28:51	観測磯、
0:28:53	の話。
0:28:55	ていうのは何か*影響確認にしていることを書いてるんですけども、
0:29:02	これっていう。
0:29:04	結局何結局この、
0:29:07	検討の最後こんなこともやっていますっていうと、何かちょっと大事な部分なんじゃないのかなと思ってて、
0:29:14	何でこうこういった確認を影響を確認しているっていうようなことをやってるのかっていうのを、
0:29:22	ちゃんとこの資料上アスタリスクでこうちょこっと書くんじゃないかって、
0:29:27	もう少し前面に出していただけたらなと。
0:29:31	思ってるのと、これ110ページでも同じですよ。観測一層、
0:29:36	確認している参考として確認してるんだったら、
0:29:40	その辺もちゃんと
0:29:44	110ページの②の中に、
0:29:47	書くのがいいんじゃないのかなというふうに思います。なんか、多分本編資料見てて、
0:29:56	説明を受けるとね、確か参考資料にあるのはわかるんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:02	何かちゃんと検討しているっていうのが、
0:30:05	すごくこう薄まっているという感じを受けましたので、何かやってることはちゃんと書いていただきたいなと思いますんで、いいですかね。
0:30:15	はい北海道電力野尻です。そうですね。前回のヒアリングを踏まえてちょっと明確にというか分けるという意味で分ける方を選択したんですけど今おっしゃられるように、
0:30:26	やってる内容の位置付けというか意味も含めてもう1回資料の方を本編側にしっかりと、
0:30:32	中身を書くということで、もう一度修正をさせていただきたいと思います。以上です。
0:30:39	はい。お願いしますアムス。
0:30:42	参考になったっていうのはですね考えが念のためやってたとか言ってることをちゃんと分けてるっていうのは参考に入ったっていうのは、何か、
0:30:53	その位置付けわかりやすくはなってるんですけどね。
0:30:56	やってることという内容としてはですね、
0:31:00	ちゃんと書いていただけたらということです。
0:31:03	続いてなんですけれども、
0:31:07	70ページ以降ですねちょっとデータも追加していただいて、
0:31:12	前回よりは説明がここの、
0:31:17	観測記録についてなされてると思うんですけどちょっと細かい確認をしていきたいと思ってまして。
0:31:26	ちょっと最初に私ここレモン、ただの文章の書き方なのかもしれないですけど70ページで、
0:31:32	よくわからなかったのが一つ目の丸で、
0:31:38	各
0:31:40	時刻歴は系だとか、
0:31:46	フーリエの振幅スペクトルで、各、各
0:31:50	で何を判断しているのかっていうのがですね、今の文章ちょっと読みにくくて、
0:31:56	具体的に言うと何か加速度時刻歴は系速度、
0:32:02	時刻歴は系の形状等を確認することで、
0:32:06	多分パルスはと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:09	後続はみたいなのがあるのかないのか確認しているっていう意味なのかなと思って。
0:32:15	次の、
0:32:17	応答スペクトルフーリエ振幅スペクトルで、特徴的なものがあれば、それは何か選ぶよう選ぶようじゃなくて特徴的なものがあるのかないのか整理すると。
0:32:28	あとは、最後のフーリエ位相スペクトルのばらつきの有無で、位相特性を確認すると、何か三つのことに分かれてるっていうことなんすかねそそれが何かこの文章で、
0:32:40	よくわからなくて、まずその
0:32:42	確認してる内容って何度どれで何を確認したのかっていうのをちょっと確認させてください。
0:32:52	はい。北海道電力の高橋でございます。谷さんおっしゃられた通りが、概ね間違いないかなと思いますけれども、加速度は形及び速度は形こちらにつきましては、
0:33:04	形状の確認ということでパルスはやや深部の大きい構造区はについて確認をしているという形になってございます。
0:33:13	さらに応答スペクトルやフーリエ振幅スペクトル、こちらにつきましては、特徴的な形状があるかないか、極端に大きいようなピークのようなものがあるかないかというところを確認してございます。
0:33:27	最後になりますけれどもフーリエ位相スペクトル、こちらにつきましては、ばらつき、特異な偏りがあるというんですかね、偏り、特定の周波数なり、位相に偏りがあるかないかと。
0:33:41	というようなところの、相続、ばらつきの有無っていうものを確認してございます。なので大きく分けて三つの観点から見ているという形になってございます。以上でございます。
0:33:54	はい、谷です。はい。まずその入口の部分は確認できました。
0:34:00	ちょっとその辺ですね、もうちょっとわかりやすく書いて書けるんだったら書いて欲しいのと、あとはんなな、前もヒアリングで言ったんですけど、どういのがあったら、
0:34:12	やっぱりここでいう特異なものになってくるのか、さっき言葉ではなく偏りがあったらとかいう話があったりしたと思うんですけど、
0:34:23	或いはパルスはっていうのは、どういうのを見たら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:28	パルスはとして、認定するのとかかですね、もう少しちょっとこの判断の、どういうものを見たのかっていうのはわかるようにしていただけたらと思いますけど。
0:34:40	その辺どうですかね。
0:34:44	説明なかなかしにくいことなんですかね。
0:34:57	はい。北海道電力の高橋でございます。おっしゃられるということのパキッとこう示せば一番いい、いいかなとは思いますが、なかなか全体を見ながら判断しているというところもございまして0、
0:35:13	例示をするというんですかね、っていうところがなかなか難しいとは考えてはございます。なるべく、もう少し詳細にですねどういったもので判断してるのかというのを記載を追記したいなとは考えてございますが、
0:35:29	なかなか例示をするというのが難しいような状況かなと考えてございます。
0:35:39	はい。規制庁丹です。うんうん。なんか、もうしっかりとしたレジとまでは言わないですけども、何かどう、どう判断してるのかっていうのがもう少しわかるようにしていただけたらということではございますので、
0:35:52	検討いただけたらと。
0:35:55	思います。
0:36:00	はい北海道電力野尻です了解しました定量的に示すのは難しいってというのはご認識いただけてる通りでちょっと我々難しいと思ってますでもうちょっと具体的にどういう特徴。
0:36:12	があったらこう判断するってというような可能な限りちょっと書きたいと思います。以上です。
0:36:18	はい。お願いします。阿藤。
0:36:22	こちらが前回のヒアリングで言っというてあれなんですけど
0:36:26	伝達関数って今回入れてますよね。
0:36:30	この辺って、70ページのこの説明では、
0:36:34	特にこう出てきてないんですけどもこれは
0:36:38	我々が言ったから載せただけってということなんですかこれは何かに使ってたりはしないんですかっていうところなんですけど。
0:36:54	はい。北海道電力の高橋でございます。資料70ページ以降に、地表観測記録も含めまして伝達関数のほうを示してございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:05	しかしながら 70 ページ丸の二つ目ですね、に記載してますようにかつ各観測点の確認につきましては各観測点の地中観測記録、
0:37:16	こちらの方を主にしながら、位相特徴ですね特異な位相特徴の確認を実施しているという状況でございます。従いまして地表の観測記録や伝達関数につきましては参考というような意味。
0:37:30	日付でございまして、こういった状況になってるのかっていうのを確認しているという状況になってございます。
0:37:38	以上でございます。
0:37:41	規制庁谷ですはい。状況はわかりました。
0:37:47	そうですね参考としてこういうのもありますよってということですね。
0:37:51	はい。
0:37:54	ですね。
0:37:57	あとはですね 83 ページとか、
0:38:05	85 ページで書いてあることが、ちょっと何か言われてることが、私はよく、
0:38:11	わからなくて確認する。
0:38:13	たいっていうところなんですけど。
0:38:15	83 ページの一つ目ですね。
0:38:18	速度時刻歴は形には振幅の大きい後続派が認められるんだけれども、確かにその 82 ページ見ると、
0:38:26	そういうなものがあると。加速度は形には、
0:38:30	同様な傾向が見られないことから、
0:38:33	位相特徴に影響を与えるようなは形ではないと考えられるという。
0:38:38	ここの辺の文章ももうちょっとこう、
0:38:41	わかりやすく説明していただけないですかね。高速化自体は、やっぱりあるっていう評価をしてるんですよね。出ただけけれども、
0:38:50	位相特徴に影響を与えない。
0:38:53	ていうのが、
0:38:55	どういう意味なのか、構造化があるだけでは、
0:38:59	特徴的な記録ではないって判断をしているのかどうなのかとかその辺、この、この文章が、
0:39:06	言いたいことをもうちょっとこう、
0:39:09	かみ砕いて教えていただけないですか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:14	はい。北海道電力の高橋でございます。先ほどおっしゃられています。筧の後続はに関してでございますけれども、こちらにつきましては、振幅の大きい増加が見られるかどうかというところでも、当社としては確認していると。
0:39:32	その点で見ますと、82 ページ速度は系につきましては比較的振幅の大きい構造化が見られていると。一方で、加速度は計につきましては、若干増加の様子は見えてはございますけれども、
0:39:45	さほど大きいような振幅ではないというところから、加速度は系の方には見られているけれども、加速度派遣には同様の傾向ということで大きな振幅の購読は見られてない。
0:39:58	従いまして両者に、振幅の大きいような構造化が見られてないということからこちらについては、特異な形状をイコールとして届け、位相特徴に影響を与えるような形ではないということで判断してございます。
0:40:13	以上でございます。
0:40:46	規制庁谷ですけど、これ、つまりはあれですかね。
0:40:50	加速度時刻歴は形で、後続はは違うよね。後続幅あるんですよ。
0:40:58	だけれども、
0:41:01	その後続ファー。
0:41:05	加速度時刻歴は県に出ないってことは、
0:41:12	何かそれほど問題視するようなもんじゃないってような、
0:41:16	ここと何ですかね、何か私やっぱりやっぱりちょっと位相特徴に影響を与えるような形ではないってのが、
0:41:24	何かいまいっちゃわかってなくて、その位相特徴に影響ってというのは、
0:41:30	ひょっとしたら、フーリエ位相スペクトルとかも、そんなのも見て言ってるのかもしれないんですけど。
0:41:38	いや、
0:41:40	最初にどういう観測記録を確認するのかっていう中で、
0:41:46	後続はがあるのかないのかも確認していきますよってというようなことを何か
0:41:53	宣言してされてると思うんですけど。
0:41:57	それぞれあるんだけどここん中、こういう
0:42:02	加速度時刻歴は形が、そそでもないからって言って片付けていいものなのかなってのが、いまい今今の説明ではわかんないんですけども。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:15	北海道電力野尻です
0:42:18	ご説明した通りなんですけど基本的には速度は系側では確かに比較的振幅が大きい稲見が事故を時々刻々続いているというのは見えますと。
0:42:31	ということで一方で、加速度系の方で見ると、
0:42:35	多少はあるんでしょうけど、後続の方に振幅が大きい、後続はないと。
0:42:43	いう状態だというふうにこの結果から見てみると、なのでちょっと速度側では、
0:42:49	続いているように見えるんだけど加速度は形には特に振幅が大きいものが続いているわけではないということなので我々として、昆茂木はを作るとすれば加速度は系の位相特徴を抽出したいと。
0:43:02	いう観点からしたときにそちら側には影響しているものは見られませんということある意味使用度側の方の振幅が大きくて後の構造化っていうのはそれほど大きいものじゃないので、
0:43:13	観測記録に特徴的なアマハ形の形状ではないという判断をしているということにしてます。あくまでも構造学科があるかないかという意味では当然、大小あるのであるというのは認識してなんですけど我々抽出したいのは
0:43:29	振幅の大きい構造化っていう、
0:43:31	て定義でそれがあ程度振幅が主要動と同じぐらいの後続があればっていうことを考えていますのでそういう意味では特徴的な、
0:43:41	位相特徴というか振幅のは形ではないというふうに整理したということでございます。以上です。
0:43:53	規制庁とあるんですけどちょっと今の説明を踏まえてもちょっと考えていますけれども、
0:43:58	場合によってはこれはこここれ以上は議論になってしまうので
0:44:06	ちょっとここではもう少し資料も確認してみますけど今の説明でいうと、結局西郷。
0:44:13	何か応答スペクトルを作るとしたら加速度時刻歴 8K で作るもんだから、
0:44:19	だから
0:44:21	あんまり気にしてないんだよっていうような説明にもちょっと聞こえてそのよ要するにこここれを見て判断する途中で、当然その後段の処理も考えて、それを踏まえて、
0:44:33	判断してるんだっていうふうな説明にもちょっと聞こえてて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:37	何かそういうポストされたことがあるんだったら何か、
0:44:42	説明に加えていただけたらなというふうに思いました。ちょっとこの辺は、
0:44:49	もう少し、資料よく見てみるようにします。
0:44:55	続いてなんですけれども、あ、そういえばこの、このもうちょっと分析をしてくださってという話を、前回のヒアリングで田島さんの方からも何か、
0:45:06	意見があっってこういったものも加えていただいているところあるんですけどタジマさんとかこの辺は特に、
0:45:13	ないですか確認。
0:45:15	するようなこと。
0:45:16	規制庁のタジマですね。もし、議題というかが言っているのでここで私の方でも、
0:45:24	幾つか、はい。この辺りで確認事項ありますので、
0:45:29	ちょっとお時間いただきます。私の方では、
0:45:35	78 ページと 79 ページ。
0:45:40	2 マーク、示し比較していただいています。はい。近くというか、示していただいています。今回参考資料の 8 に移動した。
0:45:51	主、後志希望の地震も、この今日地点の記録について、ちょっともう少し、確認したいんですが、
0:46:03	ですね、まず、この記録について、自分の方で資料の前の方とかも見ると、使用距離が 28 キロってなっていて、なんで結構離れてるので、
0:46:17	一般的な指向性パルスとかじゃないんだらうと思うんですけど、速度計で見ると、割と N S 成分とか、鋭いのピークみたいにもありまして、
0:46:31	それが大体この何秒っていうので
0:46:36	は形を見て、どれくらいのこのピークの幅があるのかなって見てそれが大体 0.
0:46:41	23 秒ぐらいの幅なんで、それと、この次の 79 ページの、
0:46:48	を通す P E T とか、
0:46:49	フーリエスペクトルっていうのを見たときに、
0:46:53	ウォータースペクトルだったら大体 0.23 秒付近にピークみたいなのが、N - S とかの防火とか上下動とかっていうのは、
0:47:03	見えたり、ぶりでも、多少 P E E K みたいのがあるように、山みたいのがあるようにも見えるんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:12	この辺り、どう解釈されてるかっていうのがありましたら、まずちょっとその1点教えてください。
0:47:25	はい。北海道電力の高橋でございます。78ページ79ページの今日記録についてのご質問かと思えます。
0:47:36	N S方向なりに若干、10秒弱ぐらいのところですかね、にピークというか基本と半てるようなものがあると。それが応答スペクトルの方に出ているものなのかどうかというようなご質問かなというところもございしますが、
0:47:55	逆に言いますとこちらSN比の方で見ますと、長周期側の方がシグナルが低いという、SN比が小さい部分になってございます。
0:48:07	大体そこの部分を見ますと除外してみますと概ね大体、上に凸のような
0:48:15	山になっているのかなあとというところで若干ピークとしては出てくる場合ますけれども、それほど特異なものではないということで我々としては考えているというところになってございます。
0:48:32	すいません北海道電力野尻です。田嶋さん今おっしゃられたのは78ページ9ページの協和の記録、
0:48:39	このPEEKって言われたって、そんな外周期1分より長いことを言ってらっしゃいましたがもっと短いところの話をされてまして、2秒とか3秒っていう、そうですね。はい。10点、0点というか、
0:48:55	0.2とか3秒、78ページで速度は形で見ると、大体ピークの部分って、
0:49:04	これ、メモリないんであれなんですけど、すごい短い、0.25秒とか3位はっていうと、0.23秒のぐらいの幅なんだろうなと思ってくるピークの幅ですねや、山が鋭いんですけどそれとを通すPETの短い周期の方。
0:49:23	0. やっぱり2、3秒とか2秒ぐらいのところでちょっとピークがあるんでその辺って対応。
0:49:31	したりするので、そういう関係とか、
0:49:34	見られてるのかな、についても解釈とかが、
0:49:38	特にこれその後の一応検討に使われてはいるので参考ですが、なのでちょっと、
0:49:45	詳しく確認をしておきたいんですが、特に解釈とか、ないですということであれば、
0:49:51	はい。結構ですが、お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:57	北海道電力野尻ですそうですねこの地震についてはおっしゃられた通り、ちょっと震央距離としては、30 キロ弱なんで、少し遠い震源近傍というわけではないという、
0:50:09	ところなのでいろんな影響が入っていると思ってます只野タジマいうN S方向で、多少パルス的に見えるのはあるんですがこれ規模は 3.5mにちょっと 3.5 の地震なのでいわゆる指向性パルスっていうのが出るほどの、
0:50:23	規模感じゃないというか震源じゃないなということだと思ってますんで、
0:50:29	持ってる周波数特性という過去のM3 クラスの規模感の周波数としてコンマ数秒ぐらい。
0:50:36	しか多分パワーがなかったというものがたまたまそういうふうに見るとしては出ちゃったのかなっていうぐらいの解釈だと思ってますすみませんそれ以上細かい分析は特にしてませんが直感として見た中ではそういう判断だと思ってます。以上です。
0:50:52	院長の田嶋です。はい、ありがとうございます。そうですね規模が小さいので、
0:50:58	もうそんなに典型的なものは絶対見えないと思うんですが、ただその特異な記録っていうのは、別に
0:51:09	定義を、これとこれって完全に限ってるわけではないので、思ったよりも、結構速度は形にしても、ピークが鋭く出てるのは、
0:51:19	今度もたまたまなのかもしれないですけど、今回、参考の対象にされたものが結構、
0:51:27	鋭く出たのでそういうのがあって何か選ばれたとか、そういうのが何かあるのかなあと思ったところもありますが、これ以上は、はい。とりあえず事実確認わかったので、
0:51:39	大丈夫です。で、もう1点、これも参考で対象にするので、もうちょっと細かいところを確認するんですが、前回この後、79 ページで、
0:51:54	地表の記録とか伝達関数書いていただいたので、ちょっとそういうのも、全体的に見てみたときに、やっぱりこの共和の地点っていうのは、
0:52:05	例えば 79 ページの左上のN Sの応答スペクトルとかって見ると、地表ものすごく
0:52:14	増幅してピークが立ってるんですね。これって、逆に言ったら、下降派の地中の記録に対しては、加工はとして影響してる可能性あって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:25	もともと震源なのかなと思うような地中の地点にも、若干N-Sとか山があるんですけど、地表で見るとさらにそのとがっていて、これがだから場合によっては中でももっと止まってたんだけど加工は落ちてきて、
0:52:41	実はこのピークとかへこんだりしてるのかなとかってというのが、このあたりだから、0.2日2秒とかなんで、
0:52:50	あの辺りって、フーリエの方で見ると、周波数で見た後、5Hzぐらいとかって見ると5Hz辺りのところに伝達関数で見ても、地表の記録で見てもやっぱりその、
0:53:02	フリースペクトルのフーリエ振幅で見ても、結構山あるんで、この辺って結構、
0:53:10	移送のピークもこの0.23秒だし、だけど、同時に地盤の影響とかで、伝達でピークとして、
0:53:19	大きい山が出ちゃってるんで、地中記録のを使ってる場合、その上の伝達のこの部分っていうのが、結局加工はとして戻ってきて、
0:53:30	つぶされてる可能性もあるから、やっぱりもしこの記録を参考で検討する場合割とこの層内はの加工はの影響ってのが、
0:53:41	地表からのね返りみたいなのが、ちょっと干渉の影響を受けてる可能性が高い記録でもあるのかなと思ひまして、そういうのもあるので、その場合剥ぎ取って地中の記録を、
0:53:55	このPEEKを、加工はへこんでるの復活させるのがもしこのピークに当たると、このレポートスペクトルとかも0.23秒のピークでも、もっと鋭くなったりする可能性もあるんですね。
0:54:08	なので、これを参考で記録として使う場合に、本当に今のショウナイはの地中の記録そのまま、
0:54:20	いいのかどうかというものとかもこれ全体とか見たときに、そういう考察に繋がるような気もしたんですね。そのあたりに関しては、はざとり
0:54:30	するかどうかも含めてちょっとどのような、
0:54:34	お考えでいるかっていうことをちょっと教えていただけると助かります。
0:54:40	北海道電力野末ですおっしゃる通り多分、今伝達関数角ん記録示してません、
0:54:49	地表から中でピークになってるところっていうのが地中記録でタニになってるっていうのは物によっては当然そういうのが見えてるなっていうのを見て、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:59	いると思っただけ倉庫まで特徴的に、
0:55:03	振幅を下げてるわけでもない。ただ当然ながらそこ少なからず影響して るなっていうのは我々も見ているなというところだと。
0:55:11	思ってます。ただす。
0:55:14	それをじゃあどう処理するかっていうと今言われたように本来であれば 剥ぎ取って、
0:55:19	とかっていうプロセスがあってもいけば一番より精緻というか良いところ に行くのかもしれないんですけど、
0:55:28	いかにせんこれK I c ネット観測点の記録を使っているという中で、あ る仮定条件をどこまで当てはめてやってやるのが正しいのかっていうこ ともあるので我々としてはあくまでも地中記録は、
0:55:41	地中記録そのままやると、いうことがより観測記録を忠実に使うとい う観点で、妥当だろうという判断をして、今地中記録をそのもので見て 議論をしてきているつもりでございます。
0:55:54	ただ一方で前回、
0:55:57	地表記録の話もありましたので中央記録も見てこの伝達関数なんかを見 ながら考察にて、特に触れてないのは特徴的に可児がフエートフーリエ 地中の記録のフーリエなんかでタニが出てるわけでもないので、
0:56:12	そこまで明確に述べてはいませんがそこら辺の影響を見ていると。た だ、いずれにしてもそこに仮定条件を入れて剥ぎ取るというのは適切じ ゃないという判断で今は、
0:56:23	中記録をそのまま使ってるというものになっていると思います外山さん 言う通りちょっとこの共和の記録、
0:56:32	について地表側での増幅があるっていうのは我々も認識はしてますけど とはいえ、地盤条件としては比較的、
0:56:39	適切だろうという判断のもとでこの記録を使いに行っているというところ だと思っただけです。以上です。
0:56:47	規制庁の田島です。はい。考えの教えていただきありがとうございます です。もし可能でしたらそのあたり、やっぱり何ではぎとりは使わないの かっていうのを、今、いろいろ教えていただきましたので、
0:57:01	お考えがあるのであれば、やっぱこの
0:57:03	記録を参考で検討されるときに、前提として、そういうあたりも、ご説 明を、があった方が、こちらも、
0:57:14	認識できますので、良いかと思いました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:17	ありがとうございます。
0:57:20	私からは、そうです。以上です。
0:57:26	はい。続いて私谷の方からも、もう何点か確認させていただきます。
0:57:31	98 ページで、
0:57:37	これ継続時間に関して、
0:57:42	整理した結果っていうのが、
0:57:46	ここ書かれてるんですけども、
0:57:48	この下三つ目の丸が、
0:57:52	観測位相を用いた模擬地震はの検討にあたって考慮すべき観測記録の選定においてはっていう、こここれなんですけど、観測記録をそのまま用いているっていうのは、
0:58:02	これってあれですよ参考の。
0:58:05	参考で検討してるやつの話をしてるっていうことなんですよ何かここ。
0:58:14	何かここに
0:58:16	検討結果を参考に移動してるんですけども、
0:58:23	ここの記載はこのまま残っているような感じがして、ちょっとね
0:58:30	これがさ、参考で検討していることの話をしてるんだっていうのがちょっとわかるようにした方がいいのかなというふうに思ったのと、
0:58:37	これって結局参考で、
0:58:39	確認をしてるっていう。
0:58:42	ことなんですよ観測位相での影響確認っていう言葉を使ってますけど、その影響確認の中に、この時間みたいなものが、確認しなきゃいけないのかどうなのかその影響確認の目的によってですね、
0:58:57	これでいいのか悪いのかっていうような話もあると思うんですよ観測記録。
0:59:03	そのまま用いている古藤でいいのかどうなのかとかですね、何かその辺もちゃんと説明していただけたら、何かこれだけだったら、
0:59:15	ひょっとしたらこの主要動の継続時間がもっと地震規模が大きくなるとな、長くなることについては、
0:59:22	何かそういう課題はあるんだけど、何も解決してないような、そんなイメージを受けるんですよ、今の。
0:59:30	記載だけを見るとですね、ちょっとその辺どう考えてるのかっていうのと、要するに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:38	うん。うん。
0:59:42	ここの記載って、
0:59:44	ここに本当に書かなきゃいけないことなのかもちょっと含めて、
0:59:50	確認させていただきたいなということで、
0:59:55	どうなんですかね。
1:00:07	ここに書かなきゃいけないことなんですかなという。すみません前回までの資料構成だと、ここにある方が一連の流れだったんでということでここでその時前回のヒアリングでこの辺のコメントをいただいたんで、
1:00:23	充実させたっていうところでここに書いたんですが、ちょっと今の立て付けになった時にはもしかすると参考資料側にこのフレーズを持っていった方が話としてはすっきりするの。
1:00:35	かもしれないなと今ちょっと思って。
1:00:38	おります。
1:00:40	あと最終的にですね位相特性の違いによる地震動への影響確認というのを、どういう観点でするのかっていうのもあるという話でおっしゃる通り、
1:00:51	継続時間を見るべきなのか応答スペクトルの大小関係というか、程度を確認するという位置付けでもいいのかなとちょっとすみません今、
1:01:01	ヒアリングで今のやりとりをしてる中でちょっと感じていますのでちょっとそういう位置付けでも整理できそうな気がするのでちょっとそういう形にさせていただきたいなと思ってます。
1:01:11	で、あとここの 98 ページで書いてある三つ目の丸については、必要あれば、
1:01:17	参考資料側に落として、
1:01:20	その位置付けをしっかりと書くということにする方がいいかなと今思ってます。以上です。
1:01:27	はい、規制庁タニそうですねこの作り方の話だとすれば、参考資料の方に入った方が、こうやって作ったんだよってという話であるとすればですねわかりやすいのかな。
1:01:39	ここにあると。
1:01:41	何の話だろうなってちょっとってしまったというところで確認させていただきましたけど、状況は確認できました。
1:01:50	あとは私ちょっと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:53	最後に前、全然ちょっと今までの話違う話なんすけど金参考の 24 ページ以降に、
1:02:05	神恵内層と古平層の性状っていうのを整理していただいたん。
1:02:11	これを続けていただいでるんですけども、
1:02:16	これってあれなんですかねちょっと見方がわからなくて、
1:02:23	この柱状図の横にある、番号 010203 とか、あるのが、
1:02:31	これが御中。
1:02:33	この右のコア出しに当たるっていうことなただけけれども、これは何かスポットコアなんですか。
1:02:42	確認させてください。
1:02:46	はい。北海道電力泉でございます。今ご提示している、例えば 25 ページの①①、③、これ
1:02:55	写真で示している位置を示しておりますけれどもこれはオールコアでやっております。事例として資料につけているのがこの位置だということでございます。以上です。
1:03:07	規制庁谷沢わかりましたずっとこれは 1100 名。
1:03:13	以上。
1:03:14	オールコアであるん。
1:03:17	あるんだけれども、代表的な抽出を、
1:03:21	代表的なコアをつけたんだっていうことで、いいですかね。
1:03:28	はい北海道電力泉ですその通りです。
1:03:32	わかりました。
1:03:35	そして、
1:03:39	この地質境界の神恵内層と古平層のジャストここが境界なんだっていうのは、これはどこになるんですか。26 ページですかね。
1:03:54	北海道電力和泉です。ですね、ジャストポイントとしては 26 ページに、
1:04:00	左側に柱状図ありますけれども、深度 500 メートル付近に、
1:04:06	雁泥岩歴凝灰岩という地層があります。その上面が、古平層と、神恵内層と栗原層の境界と、
1:04:15	いうふうに考えております一応、図も、ちょっと字が小さくて申し訳ないですけどその位置に、
1:04:21	層区分ということで記載をしております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:25	写真はですね右側に行きますと、写真の中で、これ10メートルほど提示してますけれども、
1:04:34	下の部分に黄色くハッチハッチングしている部分がございます。
1:04:43	この黄色くハッチングしてるところが、上からT2.3、2、T2ぐらいですね。
1:04:52	のところにありますけれどもそれ以降が、それより下が古平層でそれより上が神恵内層と、というような位置関係になっております。以上です。
1:05:04	規制庁谷ですはいありがとうございます。ここのあれですね、ここの写真っていうのが、ジャストこの境界の部分の写真であって、
1:05:14	オレンジ色のところからが、古平層っていうことですね。これって何かもうちょっと聞くと、
1:05:21	これ整合境界だったってことなんすかこの敷地のボーリングでは、
1:05:27	これあの点の情報ですので、これでなかなか整合不整合っていうのはちょっとなかなか、
1:05:33	わからないところではあるんですけども、我々敷地の地質を組む上でベースとしているですね、
1:05:41	サイトウ1968という文献がありまして、
1:05:45	その文献によるとですね、それと照らし合わせると、その古平累層として示されている緑色凝灰岩層にBと、
1:05:58	いうところがちょうどこの敷地の小当りに対されるんじゃないかなというふうに考えてるんですけども、そういった地層があるところについては基本整合だということも書かれておりますので、
1:06:12	ちょっとここですねこれが整合不整合でなかなか議論できないんですけども、そういった文献等を踏まえますと、ここは整合ではないかなというふうには考えてます。
1:06:24	あと上が凝灰質泥岩ということで、少し静穏な環境でたまった地層であるといったところもありますので、
1:06:34	整合ではないかなというふうに考えてます。一応これ推定ですけども、以上です。
1:06:41	はい規制庁タニスわかりました。整合ではないかなっていうことなんだけど、要するにここまでは、考古構造不整合面だみたいなものはないっていうことで、はい。確認しました。
1:06:54	そうなってくると、ちょっとこの写真では多分、
1:06:59	よくわからないっていうことなんかもしれないですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:03	405 ここの 2.1 メーターのところですね。
1:07:09	ここで何が変わるんですかっていうのが、ちょっと写真見てもよくわからなくて、柱状図とかではここが呼吸に細粒になるんだとか、
1:07:21	そういうことがあるのかな、何をもってここがこう協会なんだって言うてるのかっていうのを、もしもわかれば教えてください。
1:07:34	はい北海道電力井関です。今古平層と神恵内層の境界の、
1:07:40	あたりの話かと思えますけれども、これ、種古平層に相当する雁デール還暦凝灰岩、こちらについては、
1:07:52	やや、
1:07:54	緑色がかかった凝灰岩の中に提案力が含まれているといった、
1:08:01	そう想定しております。
1:08:04	あとそれより上の凝灰質泥岩については、若干、堆積構造のようなものが見えるような形で、細粒の
1:08:14	で、道路、粒径のもので構成された
1:08:18	泥岩であるといったようなところで
1:08:23	間違いを見いだしているといったところになります。
1:08:29	以上です。
1:08:32	規制庁谷内をちょっとしつこいように申し訳ないですけど
1:08:36	大体ずうそ今のお話ってというのが大体、全体的に見てこの辺にありそうだっていうような話かなと思ったんですねただ確かにこの辺の 2 メーターぐらいのところで、
1:08:48	上は泥岩が主体になってるし、
1:08:51	下は何か凝灰岩という白色っぽい地層ですねこれが、
1:08:57	主体になってくるっていうのは、これ写真見てよく分かるんですけど、
1:09:01	なんでこの
1:09:03	2.1 メーターのこの写真でいうと上から 2.1 メーターの
1:09:07	ところが境界なのかな、例えば、もう 1 個上の 1 点。
1:09:12	7 メーターぐらいのところでもいいのかもとか。それぞれぐらいのちょっと細かい話を確認してしまったんですけど、ここに何かこう違いがあったってことなんですかね。
1:09:47	北海道電力泉です。ちょっと細かい話までできなくて恐縮、恐縮ですけども上の方が凝灰質泥岩ですので、
1:09:56	泥岩層が続いてきて、それ一の特徴が少し変わってくるところを、基礎境界と、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:06	いうふうにしております。ちょっと大きな、ざっくりとした話ですけれどもそういった状況になります下の方ですと、
1:10:15	軽石凝灰岩を主体としたがんレーガン、結局凝灰岩というところでそこで生み出していると。
1:10:21	いうところです。すいませんちょっと、
1:10:25	本日の時点ではちょっとそれ以上答えることはできません。すいません。はい谷です。状況わかりました檀確かにこの辺の基礎だというのは私もよくわかりますあとは玄武岩が、
1:10:36	その下から出て行き始めるだとかそんなのもあるのかなというふうに思いましたし、
1:10:42	はい。
1:10:46	はい私の確認は以上です。
1:11:07	規制庁の田嶋ですすみません、意見だけすいません。確認してもいいですか。えっとですね、本編の資料の 40、
1:11:18	ページとかから、北海道西部に領域を拡大っていうお話になるかと思って、こちら前回のヒアリングでも、
1:11:31	確かサグチからこの北海道西部に限るのはなぜかとかそういうのも、質問し、
1:11:40	させていただいてて、お考えとかがあったかと思うんですけども、それについてどこか、何でこの西部に限るのかというのを何とかご説明をいただいたような気がするんですけど、どこか。
1:11:54	資料上にそれが書かれているところってありますでしょうかちょっと私の方で見つけられなかったので確認です。
1:12:05	北海道電力ノジリです明確には書いてないですね北海道西部に広げたということだけを書いてます理由についてはこれまでのヒアリングでもご説明してる通り
1:12:16	断層のタイプだとか地質環境ということで、広げたということになりますんでそこら辺をちょっと資料上、
1:12:23	ですね。
1:12:24	書きたいと思います 40 ページがいいのか、ちょっともう 1 回場所を確認しますけどなぜさ北海道西部としたのかっていうあたりは書きたいと思います。以上です。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:35	規制庁鹿島です。はい。お願いします。ちょっとこれまでの確認していくとやはりどうしても距離が遠かったり規模が小さかったりっていうのしかないと、やはり
1:12:48	条件的には観測記録って、適切なものがないんだろなっていうのは、多分どなたにもそういう間、何て言うんですかね、感触を与えるかと思いますので、
1:12:58	この地域にそしたら限りなきやいけないのかという疑問はわりと、重要な、今回の何て言うんですかね、このお話を進める上で重要な、
1:13:09	ところだと思いますので、割とわかりやすいところに、はい。
1:13:14	考えを書いておいていただけると助かります。
1:13:18	はい。北海道電力野尻です承知しました明確に書くようにします。ありがとうございます。
1:13:33	はい。規制庁谷です。大体確認の、この地震動については、大体確認今日の資料確認できたんですけども、
1:13:42	これちょっと確認したいのか。
1:13:46	ここんところ標準応答スペクトルを考慮した地震動評価についてということで、
1:13:52	会合したり、やってきたんですけども、
1:13:57	北海道電力として、特定せず一式の資料っていうのは、
1:14:03	過去の会合から大分時間経ってると思うんですけど、それが更新されて、
1:14:11	もういつでも出せるような状況なんですとかねこの標準応答スペクトルを取り込んだら、
1:14:18	いつでもこう説明できるような状況なんでしょうか。
1:14:24	北海道電力野尻です。そうですねこれまでの特定せず留萌等々、岩手宮城ですね、あたりについてはこの審査実績ありますで、
1:14:34	その資料の取りまとめもある程度進めてはいます。今すぐ出せるかっていうと今回標準応答スペクトルの資料の整理というか整合そことの整合等もまあまあ図った上でということになるんで、
1:14:46	多少時間はいただくとお思いますけどそれほど時間かからずに整理ができて、準備を進めているという状況になります。以上です。はい。谷さん。確認できましたそれはあれですかね。
1:14:57	前回の会合から、北海道電力なりにもう何か必要な知見は取り込んで、知見だったり、先行サイトの審査事例だとかそういうのも

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:11	取り込んだようなものが、整理ほぼできているっていうふうに理解していいですか。
1:15:18	と北海道電力ノジリです。
1:15:20	建設ちょっと標準応答スペクトルを除いて留萌ですとか、に関して言うと我々の審査以降も、基本的な内容というのは変わってない。
1:15:31	ものだと思っておりますその他、
1:15:35	についてはガイドが変わったということで泊で今まで審査していたものに対しての位置付けが変わっているというのは我々も認識していて、そこら辺については先行資金の施栓高野、
1:15:46	実績というか資料を見ながら今整理はしているところ。
1:15:51	だと思っております。
1:15:53	以上です。
1:15:55	入ったんです結果変わらないとかいう北海道電力の主張だったらいいんですけど、そういった必要な手順は踏んでるってことで理解しましたけどいいですねて知見もちゃんと調べて、
1:16:08	先行事例もこんな間反映できているようなものが、
1:16:12	整理ほぼできているっていうことで理解しましたけどいいですか。
1:16:17	はい北海道電力ですはい。ほぼの定義があるんですけどはい概ねできていると思ってますはい以上です。
1:16:25	はい。確認できました。
1:16:27	続いて、スケジュールの確認をしたいと思うんですけど。
1:16:33	これって、
1:16:36	改定履歴としては、
1:16:41	前回介護からの改定履歴ということなんですけど、これ
1:16:48	ちょっと矢印は増えたりしてるんですけども、前々回面談やりましたよね。
1:16:54	で、その面談から説明時期だとかそこはずらしてないってことでいいですか。
1:17:03	北海道電力の奥寺でございますその認識で結構です。
1:17:11	少々お待ちください。
1:17:18	北海道電力泉です。今程、すいませんちょっとちょっと声が小さくて、北海道電力泉でございます。今ほど奥寺が申し上げたのは基準津波のところで、奥寺が申し上げた通りです。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:31	川合前回から変えたところといたしましては、通しNo. 20、敷地の地質地質構造ということでこれ、
1:17:39	まとめ資料を作成する時の注意事項ということで書かれてる運転がございませぬけれどもこれについては、火山の審査終了見込み時期、直後にずらしているというところを、
1:17:52	修正しております。厳密にいくとこう分かれてございます。以上です。
1:18:02	はい規制庁タニです。
1:18:04	はい。
1:18:06	だから、ここの20番っていうところは面談の後に変わったところであって、その他の、前回介護からの差分っていうのはこのグレーと今回のグレーのせいになってるんですね。
1:18:18	それと今回の色つきのものを比較したら、
1:18:22	前回会合と今回の差分だということ、そういうことでいいですかね。
1:18:30	北海道電力、奥寺でございます。その認識で結構でございます。
1:18:39	はい、谷です。はい状況変わりました。
1:18:42	あとは、
1:18:50	タスクの関連性っていうのを
1:18:53	つけてるんですけども、
1:18:58	これ何か
1:19:01	ちょっと機転が、
1:19:03	コクショウショウガイ細かいことを確認すると、何か機転がちょっとよくわからなくて、例えばこの4号の、
1:19:12	4号のところから線が引いてあるじゃないですか。
1:19:15	これは4も5も起点なんですか。
1:19:20	4のところからこうずっと下に線ひいてますよね。
1:19:26	これ、4の話5号の後も含めての話ですか。
1:19:30	通しナンバー
1:19:33	北海道電力の奥寺でございます。
1:19:36	私が良いとしていたところは4からの起点を考えていました。
1:19:43	東縁部の各評価項目における、
1:19:49	最大値の確認。
1:19:51	が終われば、積丹半島の
1:19:57	最大値との比較のために、その検討方針を示しました、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:02	津波評価の組み合わせの検討方針を示し、
1:20:06	またその結果っていうのは、超過確率の参照の方に参照されるもんですから、その
1:20:13	計算値を受けて作業に入るといいうそういうタスクの関連性を示していたつもりです。
1:20:19	以上です。
1:20:21	はい。規制庁谷です。じゃあ、5番、僕からは矢印でないっていうのは何でなんですか。
1:20:44	北海道電力の奥寺でございます
1:20:49	すいません今飯野様に聞こえますけれども、
1:20:55	積丹半島とか脳部分ってのは推移小さいもんですから、低下時間の確認とかそういうところにスポットを当てた意識がなかったです。なので、水位の大きさ的などところから関連を書いたんですけれども、
1:21:10	言ってみれば、
1:21:12	東縁部の関連の評価が全部終わったので関連しているといえれば関連していると。
1:21:17	そういう感じに思いますので、
1:21:20	両方を関連しているということで、坂作業を書いて来利益の方を適切に修正したいと思います。
1:21:30	すいません。以上です。
1:21:32	規制庁単一はい。つまりこの選定の4も後も、この線に乗るってことなんですかね。今の説明を踏まえるともともと4から1000、
1:21:43	線を引いてただけど、後も同じようにここから線が引かれる。
1:21:49	で、
1:21:51	6とか、
1:21:55	8だとか9だとかっていう、これ。
1:22:01	他の項目には、
1:22:03	関係しないってことでいいんですかね。
1:22:14	北海道電力奥寺でございます6につきましては年超過確率の方で、数字織り込んでいきますので間11番と関連するかなと思ってます。
1:22:25	8につきましては、基本的にはは形を出すだ形ですのでここでストップかなと思ってます。
1:22:34	基本的には波源の評価ができれば何名の方の波源の評価ができれば、
1:22:41	あげん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:43	から、この数字時刻歴八景が 8 番出力され、また 9 番の検討との比較に用いる数字が出て、
1:22:53	10 番の取水性の確保の検討に移ることができる、或いは超過確率の参照の方に移ることができる、そのように考えてございます。以上です。
1:23:06	規制庁谷です。
1:23:08	やっぱりそういうことであれば、何か 6 番から 11 番にこう線が出るのかなっていうふうに思うんだけど、
1:23:17	それは、
1:23:19	特に必要ないんですか。
1:23:25	あ、北海道電力の奥寺でございます。
1:23:30	今 6 番ですよ 6 番の、
1:23:33	7 月上旬の星印からは 11 番の、
1:23:38	7 月上旬の検討の方に関連性を紐付けてる認識なんですけれども、
1:23:44	わかります。ごめんなさい。そのあとの、
1:23:49	検討結果ってもう 1 回やるじゃないですか、そのあと 10 月の。
1:23:54	上旬から、
1:23:56	こっちからは出ないんですか。
1:24:05	北海道電力の奥寺でございます。
1:24:08	10 月の検討結果、
1:24:13	我々の今作業の
1:24:19	10 月作業の、
1:24:26	えっとですね。
1:24:28	先行して作業を進めているという我々の実態から言いますと、
1:24:34	津波の組み合わせの評価結果が出た時点で、計算の材料等がそろっているというので、その関連、
1:24:45	10 月の下旬で、例えばその結果が変わってしまうということになればフィードバックっていうのはあり得るのだと思うんですけれども、
1:24:56	基本的には津波の組み合わせの評価結果が出れば、
1:25:02	確率の計算というのは検討はできるかなということで考えてこのような結果を示してございます。考え方は以上です。
1:25:25	規制庁谷です。6 番っていうの 10 月以降のこの検討。
1:25:31	結果の説明っていうのは、確認をするんのみで、特にその確認結果問題なければ、
1:25:39	終了ってことなんですかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:42	とか、確認がどう、どう影響するのかとかですね、その辺がわかればい いかなということの前々からちょっと言ってて、これ、
1:25:53	最後行をおくらせたのはいいんだけど、それがそのあとにコードど ういうのに関係するのかっていうのが、できたらわかるようにしてい だきたいなということで、
1:26:03	前からちょっとその辺をしてるんですけど、
1:26:07	北海道電力奥寺でございます。ですね。
1:26:16	すいません6番のはなCですと、
1:26:23	実態の作業で言いますと、計算が終わり次第引き継ぎが入るんですけ ども今そういう、この工程上のタイミングで言いますと、
1:26:34	10月、
1:26:35	上旬で計算が終わって説明に入ると、一体この時点で、
1:26:41	11月の超過確率の参照に、
1:26:46	積丹の計算結果等が繋がるということでその説明が、
1:26:53	抜け落ちていたと認識しましたので適切につなげるように、
1:27:00	修正させていただきます。
1:27:02	以上です。
1:27:06	井谷です。はい。状況は起こりました。
1:27:11	ちょっとせっかくこんなのをいろいろ考えて作られてるんで、工夫もい ろいろされてると思いますんで、わかりやすくですね繋がりがわかるよ うにしていだけたらと思いますので、
1:27:23	お願いします。
1:27:27	他何かないですか。
1:27:30	そんな。
1:27:37	規制庁側からの確認は以上にしたいと思うんですけど、
1:27:42	資料、これ8月に入ってすぐにでも会合をかけたいなというふうに思っ てますけれども、資料の修正っていうのは、
1:27:52	介護に間に合うようにできそうですか。
1:28:00	はい北海道電力野尻です。そうですね今日いただいた話であると、資料 構成とか、多少記載の充実とか、高性能やりくりという認識だと思いま すので、
1:28:12	そこは間に合うように修正をして提出したいと思っております。以上で す。
1:28:19	はい。お願いします。あと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:22	介護、説明時間何分ぐらいで、準備しておけばいいですか。
1:28:34	すね、北海道電力野尻ですざっと 30 分程度と思います。
1:28:42	以上です。はい、谷です。これはあれですかね工程も合わせて 30 分ということでもいいですか。
1:28:49	そうですねはい工程の方は多分、時間的にそれほどかからないので地震動の資料の説明のは、
1:28:58	揚力余裕でやりたいと思いますはい。
1:29:02	はいタニですわかりました。
1:29:04	あと北海道電力から何か確認しておきたいことありましたら、言っていたらと思いますけど。
1:29:15	北海道電力野尻です頭からは特にございません。
1:29:21	はい規制庁タニですそれでは今日のヒアリングを終わりたいと思います。どうもお疲れ様でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。